



さとう ゆうき
佐藤 有毅

いっしんかい
一津会

浸水被害が懸念される地域の整備について

問 国土交通省では、新たな雲出川水系河川整備計画の策定に向けて取り組みが始められているが、流域に暮らす住民にとっては、浸水被害の心配をせず安心して暮らせることが切実な思いである。整備計画の進捗状況と今後の展望は。また、中村川、赤川、波瀬川の合流地点の無堤部はどのように整備されるのか。

さらに、現在の堤防の強度については、問題ないのか。

答 国土交通省三重河川国道事務所において雲出川水系河川整備計画の策定を進めており、現在は地域の住民の皆さんから意見を聞くふれあい懇談会に計画骨子が示されている。今後は三重県知事への意見聴取を経て計画が決定される。計画の原案が策定されたら、改めて流域の住民の皆さんに説明いただく予定である。計画骨子では無堤防の区間に堤防を整備し、浸水被害の軽減を図る計画案となっており、ふれあい懇談会での意見も参考に計画を進めると聞いている。現在の築堤の強度については、国土交通省の基準に基づく施工であり堤防の強度は確保されている。

また、日常においても河川パトロールなどにより健全な堤防の維持管理に努めていただいている。

●その他の質疑・質問●

- 小中学校の学校給食について
 - ・生活習慣病の予防対策は
 - ・トランス脂肪酸の規制は
 - ・各種添加物含有の食材使用は
 - ・地産地消、津産津消の状況は
 - ・アレルギーの方への対応は
 - ・異物混入等に対する対策は
- 市内の温泉振興について
 - ・榊原自然の森温泉保養館湯の瀬の現状と課題、将来の計画について など



▲雲出川からの水が田畑、道路に浸水し、民家まで迫る



むら たあき ひさ
村田 彰久

しみんくらぶ
市民クラブ

レスリング競技のジュニア大会開催について

問 昨年10月に一志町で開催された「吉田沙保里杯津市少年少女レスリング選手権大会」は、多くの方が参加され大盛況であったと聞く。

この大会をぜひ全日本の冠を付けて開催してほしい。

答 初めての開催ということで、出身地である一志町の体育館を会場として、当初、参加者数を200人と予定していたが、吉田選手に対する反響は大きく、全国から予想以上の参加希望があり、北は群馬県から南は鹿児島県まで425人もの申し込みがあった。

今回の反響から、全国的にアピールできる大会になっていく手ごたえを感じており、更に多くの参加者に来ていただける会場の確保を進め、情報発信にも力を入れ、大会運営も更に工夫し、レスリング協会とも連携しながら、津市に吉田沙保里杯ありと言われるような大会、ジュニアの登竜門となるような大会を目指していく。

●その他の質疑・質問●

- 市展について
 - ・運営方法、審査方法及び改善点は
- 選挙管理委員会について
 - ・市議選の開票事務について
 - ・改善点は
- 教育に関して、民間施設の借用はどのようにされるのか
- 職員研修について
 - ・今年度の評価は
 - ・職員の不祥事について など



▲熱戦が繰り広げられ大盛況だった第1回吉田沙保里杯

